

創造的成果を出すためのマネジメント

国際商経学部 三崎 秀央



キーワード

イノベーション、研究開発マネジメント、組織の公平性、戦略実行

研究概要

組織が創造的な成果を出すためのマネジメントについて研究している。主要なテーマは下記の2つ。

1. 研究開発活動に代表される高度な仕事を担当するプロフェッショナルのマネジメントについて、組織・人という観点から研究している。研究集約型の企業を対象にした調査から、研究開発技術者がアカデミックもしくは専門領域に対するロイヤリティと、所属組織の価値観を受容する組織コミットメントの両方を持つことが、所属組織での成果につながることを示された。
 2. 組織の公平性についての研究。組織の公平性について、評価システムや報酬システムという観点からはもちろんのこと、戦略の明示・浸透といった経営全体の視点から体系的に分析している。数百社を対象に実施している当該研究では、給与をはじめとした報酬や、意思決定のプロセス、評価制度、上司の対応、戦略の明示・浸透など、様々な変数が、組織の公平性の知覚にどのような影響を与えているのかを明らかにしている。そこでは戦略の浸透やプロセスの公平性の重要性が示されている。
- 調査研究の方法論としては、インタビューを中心とした定性的方法、テキストマイニング、およびアンケート調査等による定量的分析を行っている。

アピールポイント

日本労務学会賞をはじめ、受賞歴多数。また、日本労務学会、経営行動科学学会、組織学会、日本経営学会などの常任理事・理事・各種委員など役員を歴任。ベンチャー企業(ジャスダック上場)取締役を兼任し、理論と実務の融合を図っている。

応用分野

- ・戦略策定
- ・創造的な組織の設計及び運用
- ・公平な組織の実現を通じた従業員のモチベーションUP